

ひめしん景況レポート

中小企業景気動向調査 No.190

2023年3月期調査



<調査要項>

・調査時点	2023年	3月上旬	
・調査対象期間	2023年	1-3月実績	
	2023年	4-6月見通し	
・調査対象企業	当金庫取引先	450社	
	有効回答数	446社 (有効回答率99.1%)	
・業種別企業数	製造業	137社、卸売業	69社
	小売業	91社、運輸・サービス業	56社
	建設業	67社、不動産業	26社
・調査方法	営業店調査員による面接聞き取り調査		

この調査では景況判断の基準として、D I (Diffusion Index, 拡散指数)による分析方法を採用しています。各質問項目で増加(上昇、好転など)が占める構成比と減少(下降、悪化など)が占める構成比との差を時系列的に観察し、景況を判断する方法です。

小さなふれあい、大きなおつきあい

 姫路信用金庫

1 - 3 月の概況

● 当金庫取引先の景況感は前期から小幅悪化

当金庫取引先の 2023年1-3月期の景況は、業況が「良い」とした企業は全体の 12.3%で前期 (2022年10-12月期 14.1%) から▲1.8ポイント、「悪い」は 26.9%で前期 (同 27.1%) から▲0.2ポイント。全業種総合の業況判断 DI は、前期▲13 から▲2ポイントの▲15となり、前期から小幅に悪化した。

業種別で見ると、製造業の業況判断 DI は、前期▲10 から+1ポイントの▲9、非製造業の業況判断 DI は、前期▲14 から▲3ポイントの▲17となった。

● 来期は小幅改善する見通し

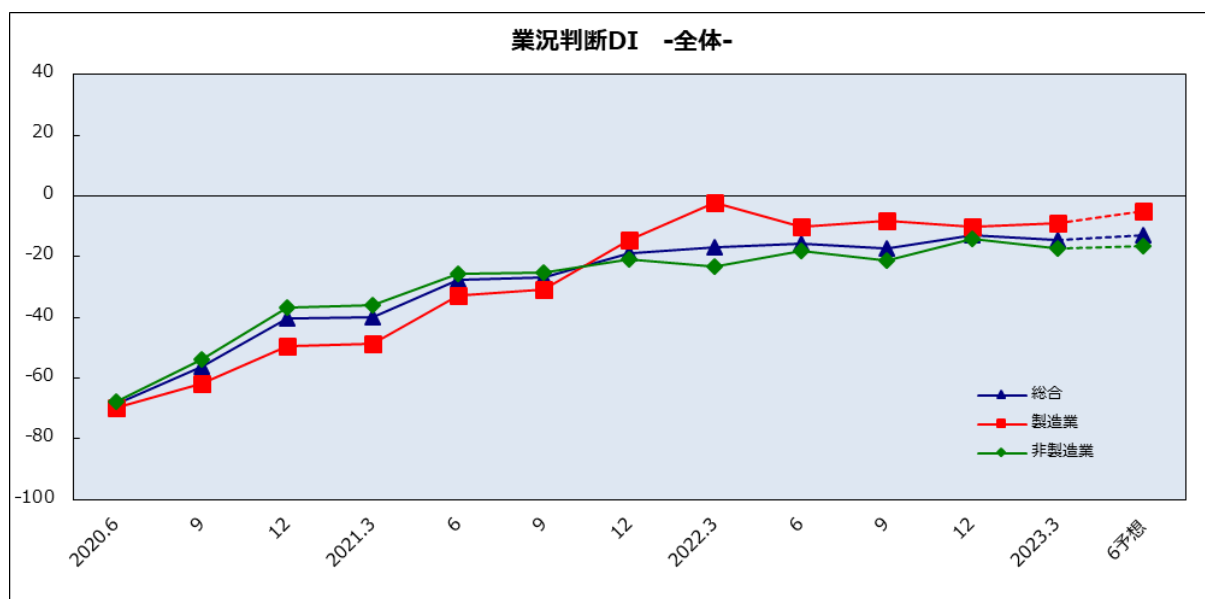
来期 (2023年4-6月期) の全業種総合の予想業況判断 DI は、今期▲15 から+2ポイントの▲13と小幅に改善する見通しである。

業種別に見ると、製造業の予想業況判断 DI は今期▲9 から+4ポイントの▲5、非製造業は今期から横這いの▲17となる見通しである。

■ 最近の業況判断 DI の推移

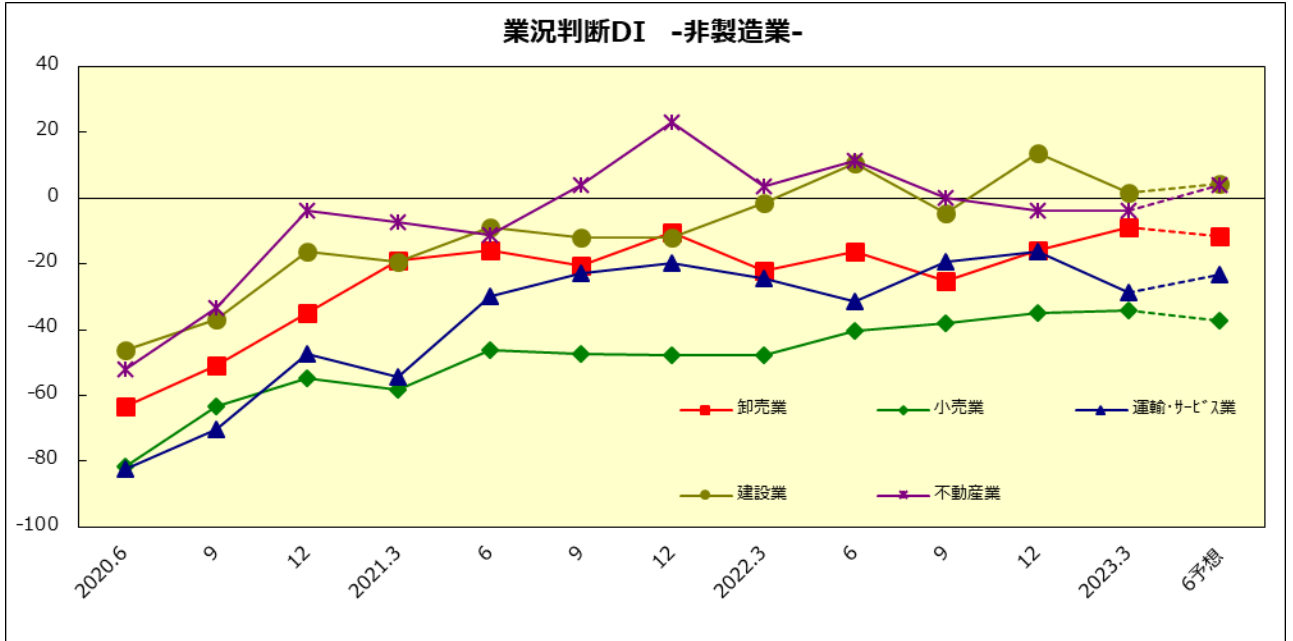
・ 業況判断 DI (総合)

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期
総合 (446社)		-17 (↗)	-16 (↗)	-17 (↘)	-13 (↗)	-15 (↘)	-13 (↗)
製造業 (137社)		-2 (↗)	-10 (↘)	-8 (↗)	-10 (↘)	-9 (↗)	-5 (↗)
非製造業 (309社)		-23 (↘)	-18 (↗)	-21 (↘)	-14 (↗)	-17 (↘)	-17 (→)

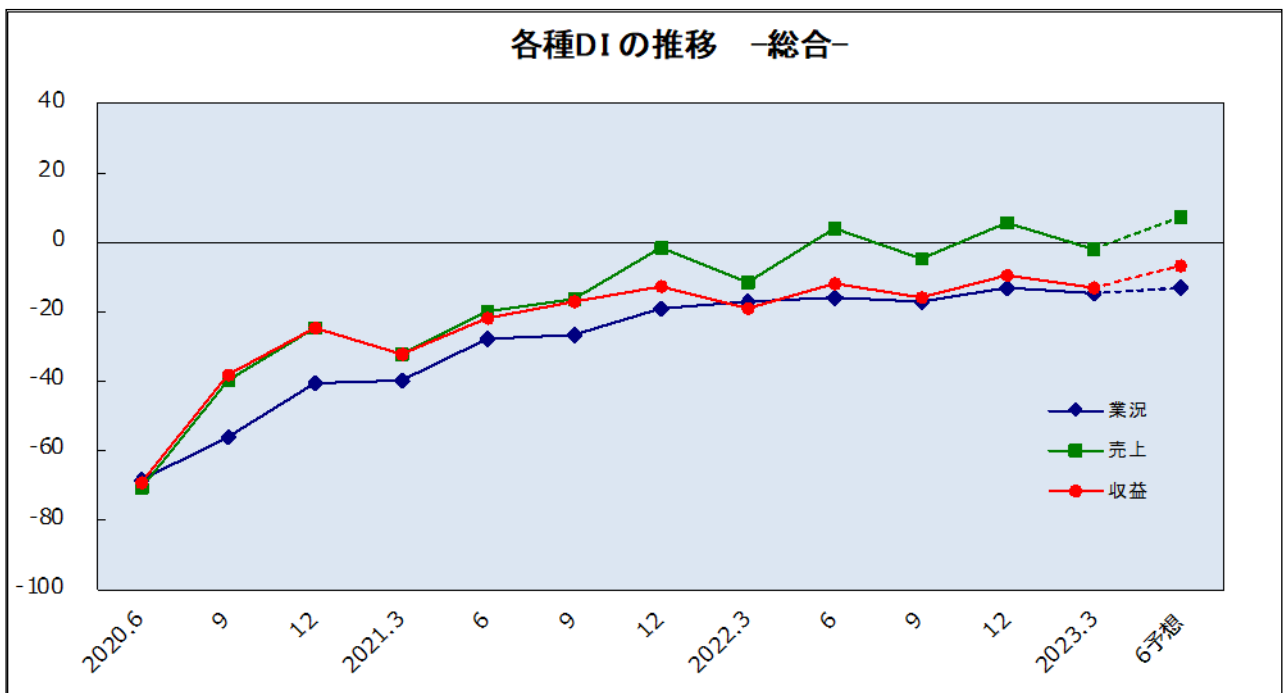


・業況判断 DI (非製造業)

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期
卸売業	(69社)	-22 (↓)	-16 (↗)	-25 (↓)	-16 (↗)	-9 (↗)	-12 (↓)
小売業	(91社)	-48 (→)	-40 (↗)	-38 (↗)	-35 (↗)	-34 (↗)	-37 (↓)
運輸・サービス業	(56社)	-25 (↓)	-32 (↓)	-19 (↗)	-16 (↗)	-29 (↓)	-23 (↗)
建設業	(67社)	-1 (↗)	10 (↗)	-4 (↓)	14 (↗)	1 (↓)	4 (↗)
不動産業	(26社)	4 (↓)	12 (↗)	0 (↓)	-4 (↓)	-4 (→)	4 (↗)



■ 業況判断・売上・収益の各種DIの推移



●前期から小幅改善

製造業は、業況が「良い」とした企業は全体の14.6%で前期(16.8%)から▲2.2ポイント、「悪い」は23.4%で前期(27.0%)から▲3.6ポイント。業況判断DIは前期▲10から+1ポイントの▲9となり、前期から小幅に改善した。

来期は金属製品、皮革製品など6業種で改善、一般機械器具、輸送用機械器具など5業種で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲9から+4ポイントの▲5と改善する見通しである。

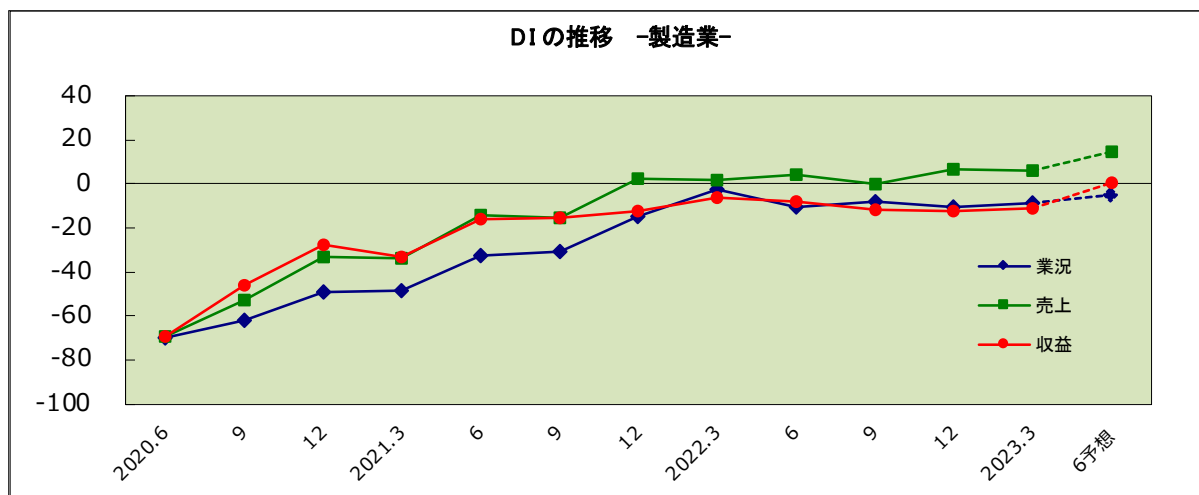
●今期は21業種中、7業種で改善、8業種で悪化

金属製品、一般機械器具など7業種で改善、食料品、輸送用機械器具など8業種で悪化した。
21業種中…業況改善7業種 / 業況横這6業種 / 業況悪化8業種

主な業種	調査時期	4期前	3期前	前期	前期	今期	来期(予想)
		2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期
金属製品 (18社)		0 (↔)	0 (→)	-5 (↘)	-21 (↘)	-17 (↗)	-6 (↗)
一般機械器具 (16社)		6 (↗)	-6 (↘)	-13 (↘)	0 (↗)	6 (↗)	-6 (↘)
食料品 (14社)		7 (↗)	-29 (↘)	-15 (↗)	-7 (↗)	-21 (↘)	-21 (→)
輸送用機械器具 (12社)		25 (↗)	0 (↘)	-17 (↘)	17 (↗)	0 (↘)	-8 (↘)
電気機械器具 (8社)		-13 (↗)	-38 (↘)	0 (↗)	-38 (↘)	-38 (→)	-50 (↘)
皮革製品 (8社)		-13 (↗)	25 (↗)	38 (↗)	13 (↘)	13 (→)	38 (↗)
プレス・メッキ (7社)		14 (→)	-14 (↘)	0 (↗)	14 (↗)	14 (→)	14 (→)
建築用金属製品 (7社)		0 (→)	-14 (↘)	14 (↗)	-29 (↘)	-14 (↗)	-14 (→)
出版・印刷 (6社)		-50 (↘)	-33 (↗)	-50 (↘)	-50 (→)	-17 (↗)	0 (↗)
窯業・土石 (5社)		40 (↗)	40 (→)	0 (↘)	-20 (↘)	-40 (↘)	20 (↗)
繊維製品(靴下) (5社)		-75 (↗)	-60 (↗)	-40 (↗)	-20 (↗)	-20 (→)	-20 (→)

調査員のコメント

- ・デジタル化を推進する上で、セキュリティ面を懸念している。(金属製品)
- ・仕入先からの値上げ要請があるものの、光熱費の大幅な値上げにより価格転嫁できず、利益の確保が困難になっている。また、システム更新等のデジタル投資によるコストの増加も課題である。(食料品)
- ・インボイス制度への対応は終了しているものの、電子帳簿保存法については未対応である。(プレス・メッキ)



● 2 四半期連続の改善

卸売業は、業況が「良い」とした企業は全体の 13.0%で前期 (8.7%) から+4.3 ポイント、「悪い」は 21.7%で前期 (24.6%) から▲2.9 ポイント。業況判断 DI は前期▲16 から+7 ポイントの▲9 となり、2 四半期連続で改善した。

来期は農畜産物・水産物、金属材料など 3 業種で改善、機械器具、飲食料品で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は今期▲9 から▲3 ポイントの▲12 と小幅に悪化する見通しである。

● 今期は 9 業種中、3 業種で改善、2 業種で悪化

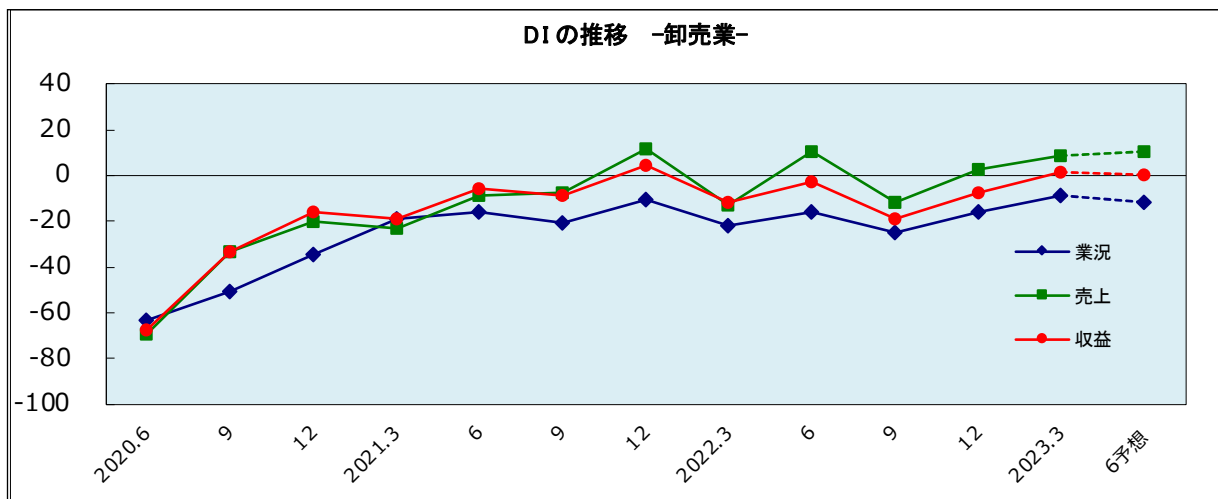
機械器具、金属材料など 3 業種で改善、農畜産物・水産物、衣服身回品で悪化した。

9 業種中・・・業況改善 3 業種 / 業況横這 4 業種 / 業況悪化 2 業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前期	前期	今期	来期 (予想)
		2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期
機械器具 (20社)		-21 (↓)	-21 (→)	-26 (↓)	-21 (↑)	5 (↑)	-15 (↓)
農畜産物・水産物 (11社)		-60 (↓)	-20 (↑)	-30 (↓)	-27 (↑)	-55 (↓)	-45 (↑)
建築材料 (9社)		0 (↓)	-11 (↓)	-22 (↓)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)
飲食料品 (9社)		-22 (↑)	-11 (↑)	-22 (↓)	11 (↑)	11 (→)	0 (↓)
金属材料 (5社)		-17 (↓)	0 (↑)	0 (→)	-33 (↓)	0 (↑)	20 (↑)
化学製品 (3社)		-33 (→)	-100 (↓)	-67 (↑)	-33 (↑)	0 (↑)	0 (→)
衣服身回品 (2社)		-33 (→)	-33 (→)	-67 (↓)	-33 (↑)	-50 (↓)	0 (↑)
再生資源 (2社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
家具建具じゅう器 (1社)		-100 (→)	0 (↑)	-100 (↓)	-100 (→)	-100 (→)	-100 (→)
その他 (7社)		17 (↑)	17 (→)	0 (↓)	0 (→)	0 (→)	0 (→)

調査員のコメント

- ・デジタル化に伴い、手形回収はでんさいシステムにて対応済み。手形振出についてもでんさい化を図る方針。 (機械器具)
- ・デジタル化できない部分も多く、費用対効果を考えると積極的な設備導入は難しい。 (機械器具)
- ・インボイス制度には対応済みだが、デジタル化に対応する余裕がない。 (建築材料)



小 売 業 9 1 社

●4 四半期連続の改善

小売業は、業況が「良い」とした企業は全体の7.7%で前期(7.6%)から+0.1ポイント、「悪い」は41.8%で前期(42.4%)から▲0.6ポイント。業況判断DIは前期▲35から+1ポイントの▲34となり、4四半期連続で改善した。

来期は飲食料品、飲食店など4業種で悪化、衣服身回品、自動車など8種類で横這いと予想しており、予想業況判断DIは今期▲34から▲3ポイントの▲37と小幅に悪化する見通しである。

●今期は12業種中、5業種で改善、3業種で悪化

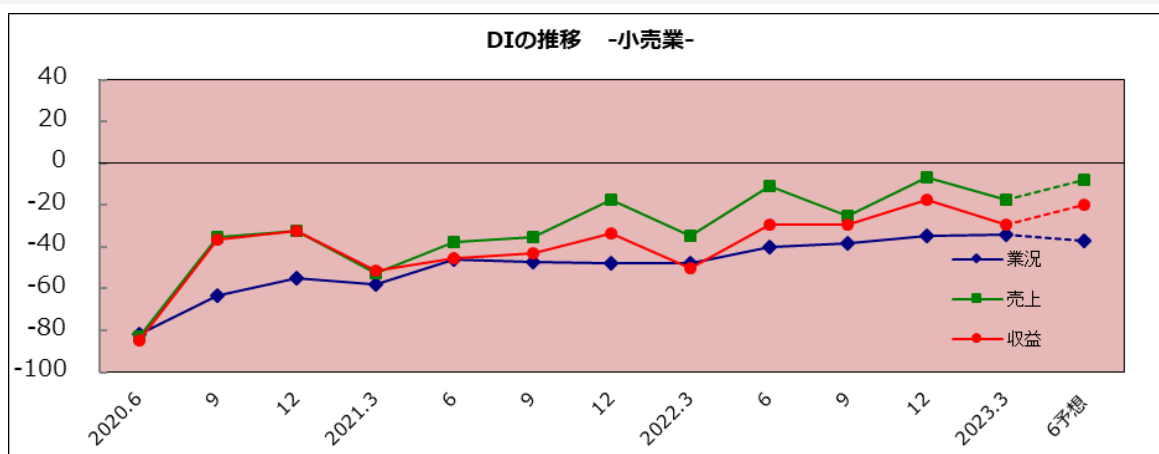
飲食料品、飲食店など5業種で改善、衣服身回品、時計・眼鏡など3業種で悪化した。

12業種中…業況改善 5業種 / 業況横這 4業種 / 業況悪化 3業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期
飲食料品 (24社)		-45 (↗)	-42 (↗)	-42 (→)	-50 (↘)	-46 (↗)	-54 (↘)
衣服身回品 (14社)		-73 (↗)	-60 (↗)	-60 (→)	-33 (↗)	-64 (↘)	-64 (→)
飲食店 (11社)		-70 (↘)	-55 (↗)	-55 (→)	-45 (↗)	-36 (↗)	-45 (↘)
スーパー・コンビニ (9社)		-22 (↘)	-22 (→)	-22 (→)	11 (↗)	11 (→)	0 (↘)
自動車 (8社)		-25 (↗)	-38 (↘)	-38 (→)	-50 (↘)	-25 (↗)	-25 (→)
ガソリン (5社)		-67 (→)	-17 (↗)	50 (↗)	0 (↘)	40 (↗)	20 (↘)
家電機器 (4社)		-25 (↘)	-50 (↘)	-25 (↗)	-25 (→)	0 (↗)	0 (→)
書籍・文具 (3社)		0 (↗)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
医薬品・化粧品 (3社)		0 (↗)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
時計・眼鏡 (3社)		-100 (↘)	-50 (↗)	-100 (↘)	-50 (↗)	-67 (↘)	-67 (→)
娯楽用品 (2社)		-50 (↘)	-100 (↘)	-100 (→)	-100 (→)	-100 (→)	-100 (→)
木材建築材料 (1社)		0 (→)	-100 (↘)	-100 (→)	0 (↗)	-100 (↘)	-100 (→)
その他 (4社)		-60 (↗)	0 (↗)	-50 (↘)	-75 (↘)	-75 (→)	-25 (↗)

調査員のコメント

- ・観光客が戻ってきており、売上は増加傾向。また、原価高騰分の価格転嫁もスムーズに行えている。(飲食料品)
- ・デジタル化の必要性を感じており、設備投資を行う方針だが、情報分野に長けた社員が不足していることが課題である。(自動車)
- ・インボイス制度については税理士主導で対応済み。(ガソリン)



●3 四半期ぶりの悪化

運輸・サービス業は、業況が「良い」とした企業は全体の7.1%で前期(12.5%)から▲5.4ポイント、「悪い」は35.7%で前期(28.6%)から+7.1ポイント。業況判断DIは前期▲16から▲13ポイントの▲29となり、3四半期ぶりに悪化した。

来期はクリーニング・理容・美容、物品賃貸で改善、運輸業、自動車整備・駐車場で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲29から+6ポイントの▲23と改善する見通しである。

●今期は7業種中、1業種で改善、3業種で悪化

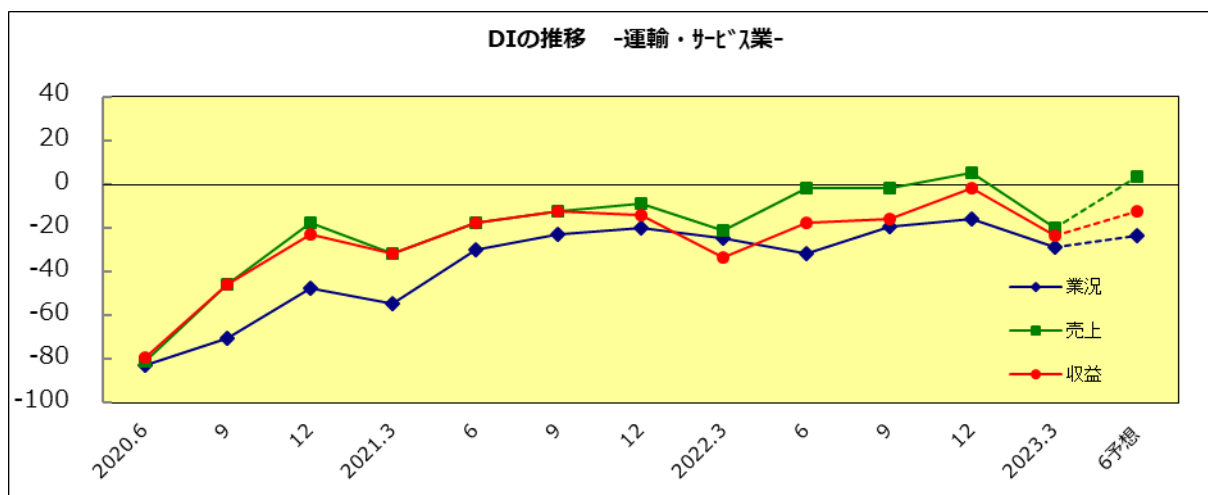
修理業で改善、運輸業、クリーニング・理容・美容など3業種で悪化した。

7業種中…業況改善 1業種 / 業況横這 3業種 / 業況悪化 3業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期
運輸業 (13社)		-43 (↗)	-57 (↘)	-14 (↗)	0 (↗)	-15 (↘)	-23 (↘)
自動車整備・駐車場 (9社)		-11 (↘)	-33 (↘)	-33 (→)	-22 (↗)	-22 (→)	-33 (↘)
クリーニング・理容・美容 (7社)		-57 (↘)	-29 (↗)	-29 (→)	-29 (→)	-71 (↘)	-29 (↗)
修理業 (3社)		-67 (→)	-67 (→)	-100 (↘)	-100 (→)	-33 (↗)	-33 (→)
情報サービス・調査・広告 (3社)		0 (→)	-25 (↘)	0 (↗)	-25 (↘)	-100 (↘)	-100 (→)
物品賃貸 (2社)		-50 (↘)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	50 (↗)
旅館宿泊所 (2社)		-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)
その他 (17社)		6 (→)	-6 (↘)	0 (↗)	0 (→)	-19 (↘)	-13 (↗)

調査員のコメント

- ・今後デジタル化を推進する方針だが、人手不足が課題である。 (運輸業)
- ・デジタル化(タクシーアプリの活用等)を進める上で財源の確保が課題である。 (運輸業)
- ・インボイス制度に対応する設備導入および維持にかかるコスト負担が大きく、現在も導入に至っていない。 (自動車整備・駐車場)



●前期から悪化

建設業は、業況が「良い」とした企業は全体の17.9%で前期(24.2%)から▲6.3ポイント、「悪い」は16.4%で前期(10.6%)から+5.8ポイント。業況判断DIは前期+14から▲13ポイントの+1となり、前期から悪化した。

来期は総合工事、設備工事で改善、職別工事で横這いと予想しており、予想業況判断DIは今期+1から+3ポイントの+4と改善する見通しである。

●今期は3業種中、全業種で悪化

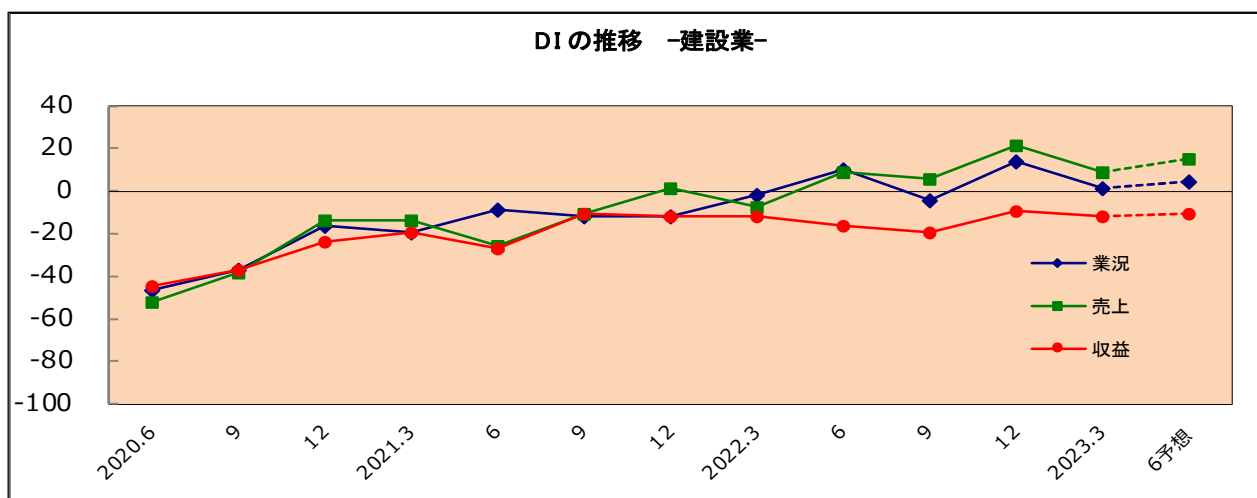
総合工事、職別工事など全業種で悪化した。

3業種中…業況改善 0業種 / 業況横這 0業種 / 業況悪化 3業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期
総合工事	(33社)	-10 (→)	3 (↑)	-6 (↓)	3 (↑)	-6 (↓)	-3 (↑)
職別工事	(22社)	19 (↑)	29 (↑)	0 (↓)	30 (↑)	14 (↓)	14 (→)
設備工事	(12社)	-13 (→)	0 (↑)	-7 (↓)	13 (↑)	0 (↓)	8 (↑)

調査員のコメント

- ・インボイス制度に対応するための設備(パソコン関係)については、助成金などを利用して対応できている。 (総合工事)
- ・助成金などを利用して、積極的にデジタル化を推進する方針。 (職別工事)
- ・社員の知識不足によりデジタル化への対応が進んでいない。 (設備工事)



●前期から横這い

不動産業は、業況が「良い」とした企業は全体の11.5%で前期(15.4%)から▲3.9ポイント、「悪い」は15.4%で前期(19.2%)から▲3.8ポイント。業況判断DIは前期から横這いの▲4となった。

来期は建売・土地売買、貸家・貸間で改善、不動産代理・仲介で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲4から+8ポイントの+4と改善する見通しである。

●今期は4業種中、2業種で改善、2業種で悪化

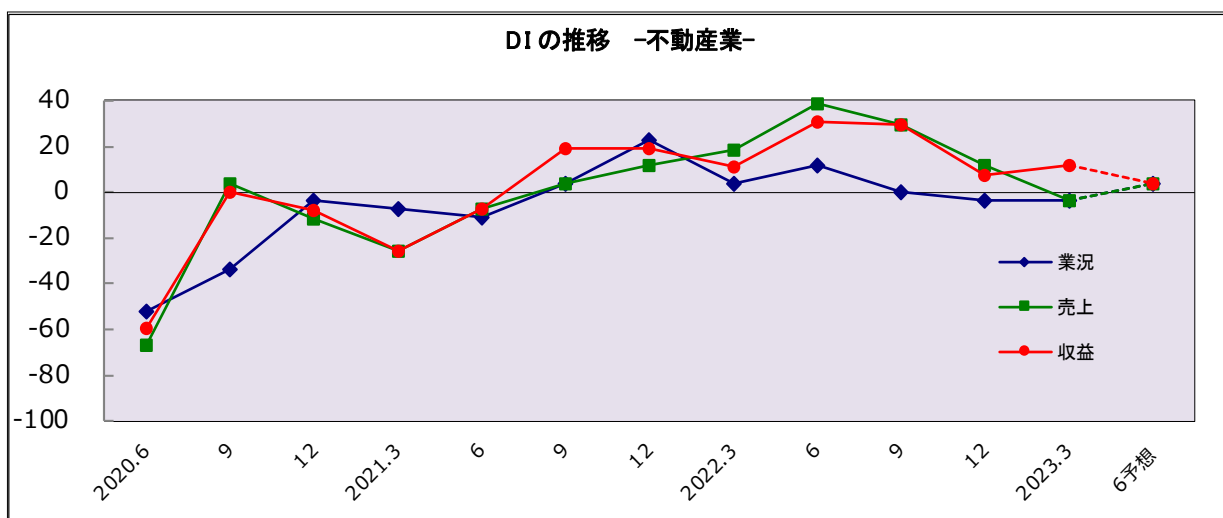
不動産代理・仲介、貸事務所・土地賃貸で改善、建売・土地売買、貸家・貸間で悪化した。

4業種中・・・業況改善 2業種 / 業況横這 0業種 / 業況悪化 2業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期
建売・土地売買 (12社)		23 (↗)	17 (↘)	8 (↘)	0 (↘)	-17 (↘)	0 (↗)
不動産代理・仲介 (9社)		-33 (↘)	11 (↗)	-11 (↘)	-11 (→)	11 (↗)	0 (↘)
貸事務所・土地賃貸 (2社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	-50 (↘)	0 (↗)	0 (→)
貸家・貸間 (1社)		100 (→)	0 (↘)	0 (→)	100 (↗)	0 (↘)	100 (↗)
その他 (2社)		0 (↗)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)

調査員のコメント

- ・業種柄、デジタル化等には限界がある。 (建売・土地売買)
- ・デジタル化に対する設備投資に積極的。その効果もあり、従来の商圈以外からの問い合わせが増加しており、売上に寄与している。 (建売・土地売買)
- ・ホームページの費用対効果を精査して、今後の対応について検討する必要がある。 (不動産代理・仲介)



~MEMO~